

日本分析化学会九州支部

支 部 ニ ュ ー ス

第 45 号 2022 年 3 月

九州支部ウェブサイト

http://www.jsac.or.jp/~jsac_kyushu/

2021 年度 日本分析化学会九州支部
〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1
熊本大学大学院先端科学研究部
物質材料科学部門生体関連材料分野

新旧支部長からのごあいさつ

支部長就任のご挨拶

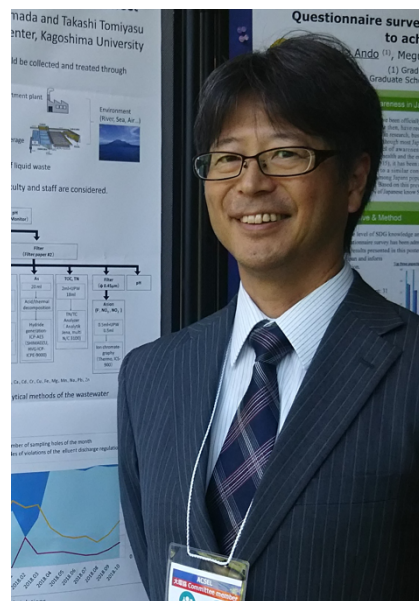
井原敏博前支部長（熊本大学）の後をついで、2022年度支部長をおおせつかりました。鹿児島大学大学院理工学研究科の富安卓滋と申します。支部長就任にあたり、改めて考えてみたのですが、研究は一人で黙々とできるものであったとしても、他の方々と議論する中で新しい視点を導入できたり、見落としているポイントを発見できたりすることで、さらに研究を高みに持っていくことができる。そのために学会という組織が構成されてきたのだと理解しています。支部の存在意義は、より距離的に近いところで、それぞれの地域の状況に応じて、より密接なきめの細かい交流を通じて、研究を活性化させ、支部というスケールだからこそ可能となる取り組みを実施し、分析化学の裾野を広げていくこと。それが翻って、学会全体が大きく育つエネルギーを生み出すことになるのでしょうか。

交流と研究の活性化は切り離せないものであると考えていますが、コロナ禍の中、参加者の安全確保、そして、医療現場をこれ以上逼迫させないために、組織としての活動のあり方を検討するのは当然のことです。そのため、2022年度の九州支部としての主要な活動である第35回若手研究講演会および第40回夏季セミナーは、オンラインで実施することになりました。世話人の佐賀大学宗申明先生、野間誠司先生は、オンライン開催でのメリットを十二分に活かした運営を検討くださっています。また、第61回分析化学講習会については、実行委員長の熊本大学井原敏博先生を中心として各方面からの意見を伺いながら、開催について慎重な検討が進められているところです。

組織として、構成員の安全を確保することを第一に考えたコロナ対応が求められる中で、コミュニケーションのツールは、劇的に進化を遂げ、会議どころか学会もリモートで問題なく行われるようになってきました。その一方で、やはり顔を直接合わせて議論することで得られるものも間違いなくあるはずで、そして、学会活動の原点となる熱感を感じられる交流をどのように実現するのか、が、今問われているように思えます。組織だった大きなイベントができなければ、何もできないということではなく、例えば、大学内、県内、地区内など、状況を判断しつつ、例え小さくてもその分小回りの効く研究交流を計画し、実施することができれば、そして、その経験を共有する場として支部が活用されれば、大きな力を発揮することになるはずで、ぜひ、それぞれの単位で主体的に取り組みを進め、そのニュースを支部執行部にお寄せ頂ければと考えているところです。

最後になりましたが、2022年度の支部執行部は、副支部長に、大平慎一先生（熊本大学）、赤瀬信一郎様（鹿児島県警科捜研）、庶務幹事に、神崎亮先生（鹿児島大学）、会計幹事に、児玉谷仁先生（鹿児島大学）に就任いただき活動を進めてまいります。コロナに負けず、とはいえ無謀な活動に走ることなく、原点を見つめた支部活動に少しでも貢献して行きたいと考えています。どうぞ宜しくお願い致します。

（鹿児島大学 富安卓滋）



支部長退任のご挨拶

九州支部の皆様、こんにちは。2021年度の支部長を仰せつかっておりました熊本大学大学院先端科学研究部の井原でございます。ロシアのウクライナ侵攻の報道に触れ、毎日強いショックを受けています。戦線が拡大することなく、ウクライナ国民に再び祖国での平穏が戻ることを祈ります。

さて、前任の長崎大学の黒田直敬先生から支部長を引き継いで何とか1年を終えることができました。支えていただきました幹事の先生方をはじめとする会員の方々に礼を申し上げます。特に、執行部として助けていただいた副支部長の田中充先生（九州大学）、高橋政孝様（同仁化学研究所）、庶務幹事の水城圭司先生（崇城大学）、会計幹事の北村裕介先生（熊本大学）に心から感謝いたします。



昨年度から続いておりますコロナ禍により、社会のあらゆるイベントが中止、あるいはオンライン開催などに形態を変えて実施しておりますが、分析化学会においても今年度のほぼすべての本部、および各支部の活動が制限付きの実施ということになっているようです。その中で、九州支部の活動のうち唯一、秋の幹事会は11/1に熊本大学黒髪南地区キャンパスにて対面で開催し、36名の幹事の先生方に出席いただくことができました。同日、九州分析化学会賞の授賞式、および受賞講演を行いました。令和2年度受賞の佐賀大学高椋利幸先生「小角中性子散乱法による二成分溶媒の状態分析とその反応場としての特性」、および令和3年度受賞の福岡大学 能田均先生「高選択的な蛍光誘導体化法の開発とその分析化学的応用」のお二人の受賞者による講演会となりました。お二人の先生方、おめでとうございます。また、素晴らしいご講演をありがとうございます。コロナ第5波と第6波の間の小康状態の間での開催でしたので直前まで開催形態を確定できなかったこと、および感染対策の難しさにより、例年併催している工場見学、および情報交換会は行いませんでしたが、旧知の先生方と久しぶりにお会いすることができてたいへん嬉しく思いました。教育もそうですが、学会活動においても、人と人とのリアルな相互作用はとても重要で、文字通りの目的以上の意味があると思っています。来年度中には、国もコロナの感染症法上の分類を変更し、教育研究活動を少しでも正常化することができるのではないかと期待しています。一方でコロナ禍が我々に残してくれた唯一の財産もあります。コロナは私たちに例外なくオンラインミーティングの訓練をしました。特に学内のキャンパスを超えた定期的な会議などポストコロナにおいてもオンラインで十分です。学会活動もむしろ積極的に適宜オンライン会議等を併用しながら経済性と効率を両立できれば良いと考えています。不毛なコロナ時代から意味のあるものを何かひとつでもゲットしなければ...

次年度の支部運営は鹿児島大学学術研究院（理学部）の冨安卓滋先生を支部長とする執行部の皆様をお願いいたしました。九州支部としては、2023年度秋に戸田敬先生（熊本大）を実行委員長として熊本にて開催予定の第72年会に関して、皆様のお力をお借りして準備作業を始動させる必要があります。ウクライナ情勢も加わり、さらに不透明になった社会情勢を見越しての運営など、来年度はいろいろとたいへんだとは思いますが、何卒よろしく願い申し上げます。

九州支部のより一層の発展を祈念して支部長退任の挨拶とさせていただきます。この一年間、どうもありがとうございました。

（熊本大学 井原敏博）

支部活動報告

❖ 第58回 化学関連支部合同九州大会 ❖

期日：2021年7月3日（土）
共催：日本分析化学会九州支部ほか7化学関連支部
北九州市
会場：オンライン開催
*九州分析化学ポスター賞5件を選出しました。
大会の詳細は支部ニュース44号及びWEBサイト
(<http://godo-kyushu.jp/godo/index.html>)を
ご覧ください。

❖ 九州分析化学若手の会 第34回 若手研究講演会お よび第39回 夏季セミナー ❖

期日：2021年7月23日（金）
主催：九州分析化学若手の会、日本分析化学会九州支部
会場：オンライン開催
世話人：九州工業大学大学院工学研究院佐藤しのぶ
*詳細は支部ニュース44号をご覧ください。

❖ 第61回 分析化学講習会 ❖

2021年度の第61回分析化学講習会の開催に関
しまして、実行委員からの意見を集約した結果、年
度中の開催は極めて難しいという結論に至りました。
次年度の第62回分析化学講習会については、実行
委員長である熊本大学大学院の井原先生にご計画い
ただいております。こちらにつきましても決定次第、
改めてご連絡をさせていただきます。

❖ 機器分析ワークショップ ❖

コロナ感染状況を見てギリギリまで待ち、緊急事
態宣言およびまん延防止も解除にはなりませんが、
収束までには至らず、大変恐縮ですが今年度の開催
は見送りさせていただくことになりました。

❖ 2021年度 九州支部講演会 ❖

期日：2021年11月1日（月）
主催：日本分析化学会九州支部
会場：熊本大学黒髪南キャンパス 工学部百周年記
念館
講演：
1. 「小角中性子散乱法による二成分溶媒の状態分
析とその反応場としての特性」
佐賀大理工学部 高椋利幸 先生
(2020年度 九州分析化学会賞受賞講演)
2. 「高選択的な蛍光誘導体化法の開発とその分析
化学的利用」
福岡大薬学部 能田均 先生
(2021年度 九州分析化学会賞受賞講演)



❖ 2021年度九州支部産学連携見学会 ❖

見学会と情報交換会はコロナ感染のリスク軽減の
観点から今年度は実施致しませんでした。

❖ 会議等 ❖

- 九州分析化学会賞・奨励賞選考委員会

期日：2021年5月29日（土）

会場：Zoomによるオンライン会議*2021年度九州分析化学会賞受賞者1名、九州分析化学奨励賞受賞者3名については支部ニュース44号をご覧ください。

- 2021年度第1回常任幹事会

期日：2021年6月4日（金）

会場：Zoomによるオンライン会議

- 2021年度学会賞等候補者推薦委員会

期日：2021年11月1日（月）

会場：熊本大学黒髪南キャンパス 南W4（工学部研究棟Ⅱ）2F 会議室

- 2021年度幹事会

期日：2021年11月1日（月）

会場：熊本大学黒髪南キャンパス 南W4（工学部研究棟Ⅱ）2F 203 講義室

- 2021年度第2回常任幹事会

期日：2022年2月19日（土）

会場：Zoomによるオンライン会議

本部関連

❖ 第82回 分析化学討論会 ❖

期日：2022年5月14日（土）～15日（日）

会場：茨城大学水戸キャンパス

実行委員長：山本 博之（量子科学技術研究開発機構）

討論主題：

1. 環境における放射性物質と分析化学
2. 量子ビームと分析化学
3. 地域から世界へ発信する電気分析化学
4. ヘルスケアと分析化学
5. 内山一美先生を偲ぶ

※ 討論趣旨及び依頼後援は討論会 HP

（<https://confit.atlas.jp/guide/event/jsac82touron/top>）をご参照ください。

❖ 日本分析化学会 第71年会 ❖

期日：2022年9月14日（水）～16日（金）

会場：岡山大学津島キャンパス（岡山市）

※ 会期・会場は変更の可能性あり。

※ 講演募集要項は「ぶんせき」誌2022年4・5月号に掲載予定です。

❖ *Analytical Sciences* 誌等への投稿のお願い ❖

2022年1月より、Anal. Sci.誌の出版業務がSpringer Nature (SN) 社に委託されました。

新 Web site は以下のようです。

<https://www.springer.com/journal/44211>

また新投稿サイトは以下のようです。

<https://www.editorialmanager.com/ansc>

分析化学会の会員は、学会のマイページにログインすることにより Anal. Sci.の電子版を、読むことが

できます。また、投稿料はこれまで同様に無料です。国際的に認知された論文誌は、会員と学会にとって重要なだけでなく、我が国の優れた研究成果を発信して世界的なプレゼンスを高めます。良い研究論文はぜひ Anal. Sci.誌へご投稿ください。また、他のジャーナル等に投稿される場合も Anal. Sci.誌の論文を引用頂けましたら幸いです。Anal. Sci.誌の国際プレゼンス向上に、皆様方のご協力をお願いいたします。

❖ 2022年度 支部からの役員 ❖

理事：黒田直敬（長崎大医歯薬）

代議員：井原敏博（熊本大工）、片山佳樹（九大工）、佐藤博（長崎国際大薬）、高椋利幸（佐賀大理工）、富永昌人（佐賀大理工）、浜瀬健司（九大薬）、松井利郎（九大農）、松森信明（九大理）、光井康浩（京都電子工業）

編集委員：

「ぶんせき」野間誠司（佐賀大農）

「分析化学」森健（九大工）

「Analytical Sciences」末田慎二（九工大情報工）

❖ 入会を歓迎します ❖

あなたのお近くに日本分析化学会への入会を考えていただけそうな方がいらっしゃいませんか？是非、入会をお誘い下さい。支部の事務局へご連絡頂ければ入会案内をお送りします。また、入会ご検討中の方に対しては、要望すれば機関紙の見本を学会本部からもらえるそうです。日本分析化学会の会員拡充にどうぞご協力下さい。

今後の支部活動計画

❖ 支部活動・事業予定 ❖

- 九州分析化学若手の会第 35 回研究講演会 および第 40 回夏季セミナー

期日：2022 年 7 月 29 日（金）～30 日（土）

会場：オンライン開催

世話人：宗 伸明(佐賀大農)・野間誠司(佐賀大農)

※詳細が決定しましたら改めてお知らせ致します。

- 第 59 回 化学関連支部合同九州大会

期日：2022 年 7 月 2 日（土）

会場：北九州国際会議場（北九州市）

発表申込期間：3 月 1 日（火）～4 月 8 日（金）

予稿原稿締切：5 月 13 日（金）

発表形式：一般・学生発表はポスター発表のみ。ほか依頼講演（8 件、各支部推薦）

支部推薦依頼講演：

「溶存イオンのハンドリング ～放射性金属イオンの精製・高純度イオン液体の合成～」

大平 慎一（熊本大学）

実行委員長：中山 二郎（九州大学）

代表世話人：善藤 威史（九州大学）

*詳細は下記 WEB サイトをご覧ください。

<https://godo-kyushu.jp/godo/index.html>

- 第 63 回 分析化学講習会（開催検討中）

期日：2022 年 8 月上旬予定

会場：九州大学伊都キャンパス、九州大学馬出キャンパス、福岡大学理学部、福岡市産学連携交流センター（未定）

実行委員長：井原敏博（熊大院先端）

❖ 2022 年度 支部執行部・役員 ❖

- 執行部

支部長： 富安卓滋(鹿児島大院理工)

次期支部長： 井上高教(大分大学理工学部)

副支部長： 大平慎一(熊大院先端)

赤瀬信一郎(鹿児島県警察本部刑事部)

科学捜査研究所所長補佐)

監査： 井原敏博(熊大院先端)

高橋政孝(株式会社同仁化学研究所)

庶務幹事： 神崎 亮(鹿児島大院理工)

会計幹事： 児玉谷仁(鹿児島大院理工)

- 常任幹事（13 名）

(九工大・福教大・九共大) 竹中繁織(九工大工)

(九大院理) 松森信明(九大院理)

(九大院工) 高橋幸奈(九大 I²CNER)

(九大院薬・第一薬大) 浜瀬健司(九大院薬)

(九大院農・九産大・福女大) 石川洋哉(福女大)

(九大筑紫・近大九州工) 稲田 幹(九大中央分析セ)

(福岡大) 栗崎 敏(福大理)

(佐賀) 松田直樹(産総研)

(長崎・熊本) 黒田直敬(長崎大医歯薬)

(長崎・熊本) 戸田 敬(熊大院先端)

(大分・宮崎) 大島達也(宮崎大工)

(鹿児島・沖縄) 新垣雄光(琉球大理)

(企業・官公庁) 川上健次((株)ジェイ・サイエンス西日本)

事務局より

❖ 各賞推薦依頼および規定 ❖

▼ 九州分析化学会賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として九州在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会の正会員にして、分析化学に関する研究、教育及び九州支部の運営において功績が顕著であり、九州の分析化学の発展に多大なる貢献をした者で、受賞の年の1月1日現在、原則として20年間以上引き続き本会会員であり、満65歳以下の者。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の業績目録、被推薦者本人による業績内容の説明文（図表等を含めA4紙4枚程度、教育・支部運営についてA4紙1枚程度、英文も可）をpdfファイルにて4月末日までに「jsac_kyushu@jsac.jp」（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。

▼ 九州分析化学奨励賞応募規定（抜粋）

対象者：原則として、九州に在住もしくは九州の研究教育機関・企業等に在籍し、かつ日本分析化学会会員で、受賞年度の4月1日において満30歳未満の者。ただし、修士課程（博士前期課程）及び博士課程（博士後期課程）に在籍する場合には満35歳未満の者。非会員は受賞時まで日本分析化学会の入会申請をしなければならない。

必要書類・締切：推薦者はA4紙1枚の推薦書（指定用紙）、被推薦者の論文目録、講演題目のリスト及び論文等の別刷りの一部（複数可）、さらに被推薦者本人による研究内容の説明文（A4紙2枚、英文可）及び図表等（5枚程度）をpdfファイルにて指定期日（受付期間：4月1日～4月30日）に「jsac_kyushu@jsac.jp」（支部長・庶務幹事・会計幹事）宛てに送付。

*募集要項の詳細は支部のホームページをご覧ください。申請に必要な書類ファイルもダウンロードできます。

❖ 編集後記 ❖

今年度も、新型コロナウイルス感染症の騒動の中、あっという間に一年が過ぎ去ってしまいました。コロナ禍での様々な行動制限のなか、井原支部長をはじめ、高橋副支部長、水城庶務幹事、ならびに北村会計幹事の細部まで配慮の行き届いた細やかな支部運営に支えて頂きましたことに心より感謝申し上げますとともに、私の副支部長としての任もこの支部ニュース（45号）の発行を持ちまして終了となりますことに安堵しております。

2022年度の大学側副支部長は大平慎一先生（熊本大学）です。いつも明るくかつ的確に九州支部を盛り上げてくださっている先生ですので、富安支部長、神崎庶務幹事、児玉谷会計幹事とともに、九州支部をより一層盛り上げていただけるものと確信しております。

最後になりますが、会員の皆様には一年間のご支援に感謝いたしますと共に、次年度以降も日本分析化学会九州支部への一層のご指導、ご支援をお願い申し上げます。3回目のワクチン接種が進み、次年度こそは、コロナ禍が終息し、これまでの学会活動ならびに会員の皆様の交流が出来ますことを心より祈念いたします。どうぞ、会員の皆様におかれましては、なにとぞご自愛くださいますようお願い申し上げます。

（副支部長 田中 充）



2021 年度 日本分析化学会九州支部 事務局

〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪 2-39-1

熊本大学大学院先端科学研究部

物質材料科学部門生体関連材料分野

| | |
|------|---|
| 支部長 | 井原 敏博（熊本大学大学院先端科学研究部） toshi@chem.kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3873 |
| 副支部長 | 田中 充（九州大学大学院農学研究院） mitsurut@agr.kyushu-u.ac.jp / 092-802-4753 |
| 副支部長 | 高橋 正孝（（株）同仁化学研究所） m.takahashi@dojindo.co.jp / 096-286-1515 |
| 庶務幹事 | 水城 圭司（崇城大学工学部ナノサイエンス学科） mizuki@nano.sojo-u.ac.jp / 096-326-3626 |
| 会計幹事 | 北村 裕介（熊本大学大学院先端科学研究部） ykita@kumamoto-u.ac.jp / 096-342-3872 |